

「公立小中学校水のみ場直結給水化事業」に関するアンケート結果

(アンケート調査の概要)

調査対象 (公立小中学校 43校)

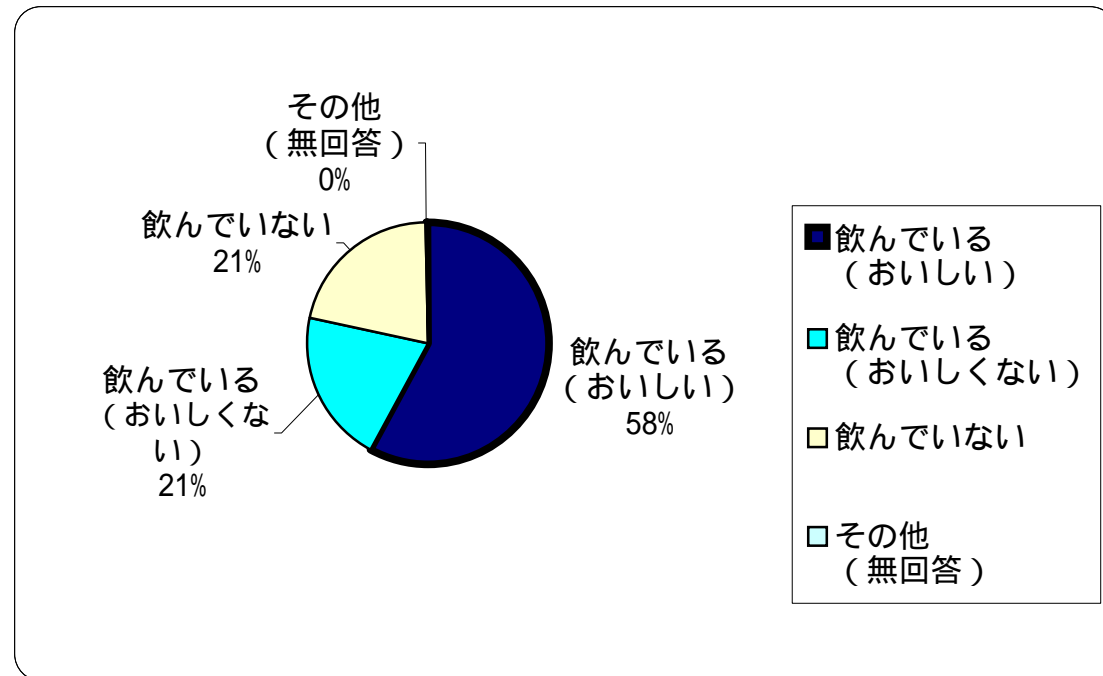
・小学校	28校 (4年生)	905名	
・中学校	15校 (2年生)	536名	
児童・生徒計		1,441名	(公立小中学校児童・生徒の約6.4%)
・教職員		186名	

アンケート実施期間

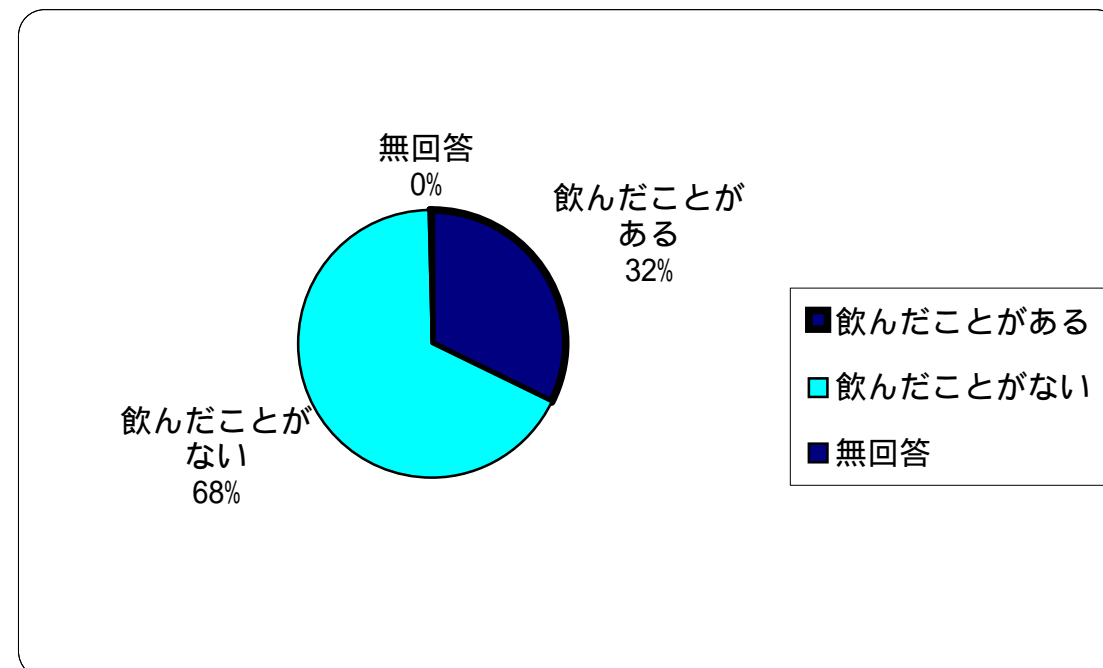
・平成22年9月中旬～下旬 (10月初旬回収)

1. 児童・生徒用直結給水化事業についてのアンケート

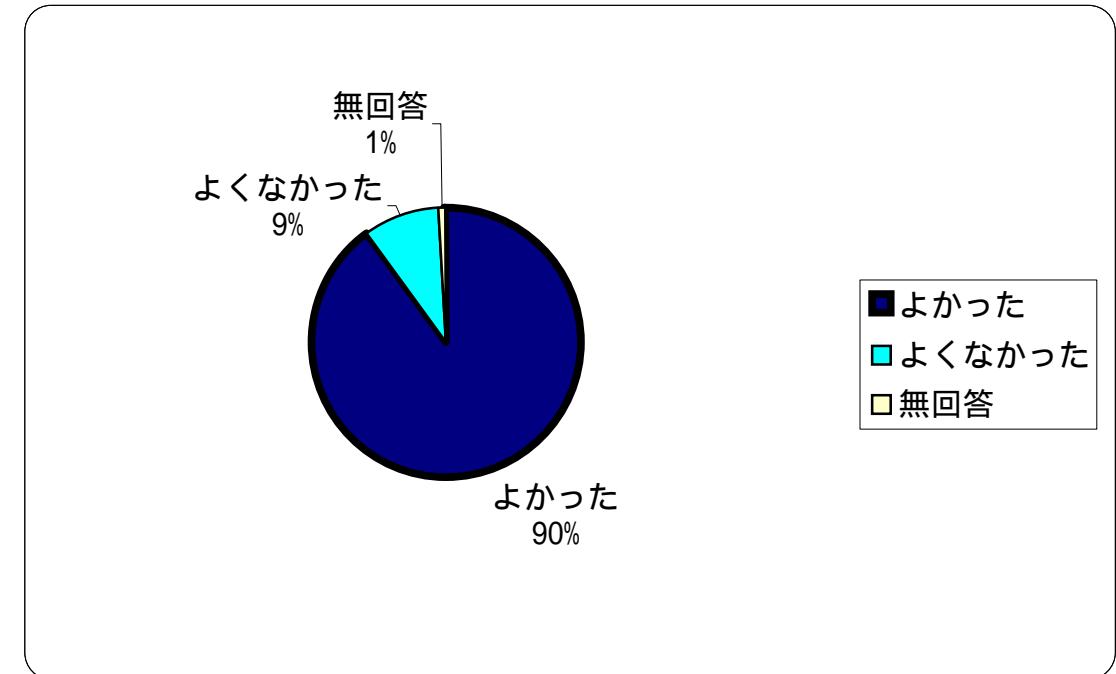
あたらしくできた“水のみ場”で水を飲んでいきますか？



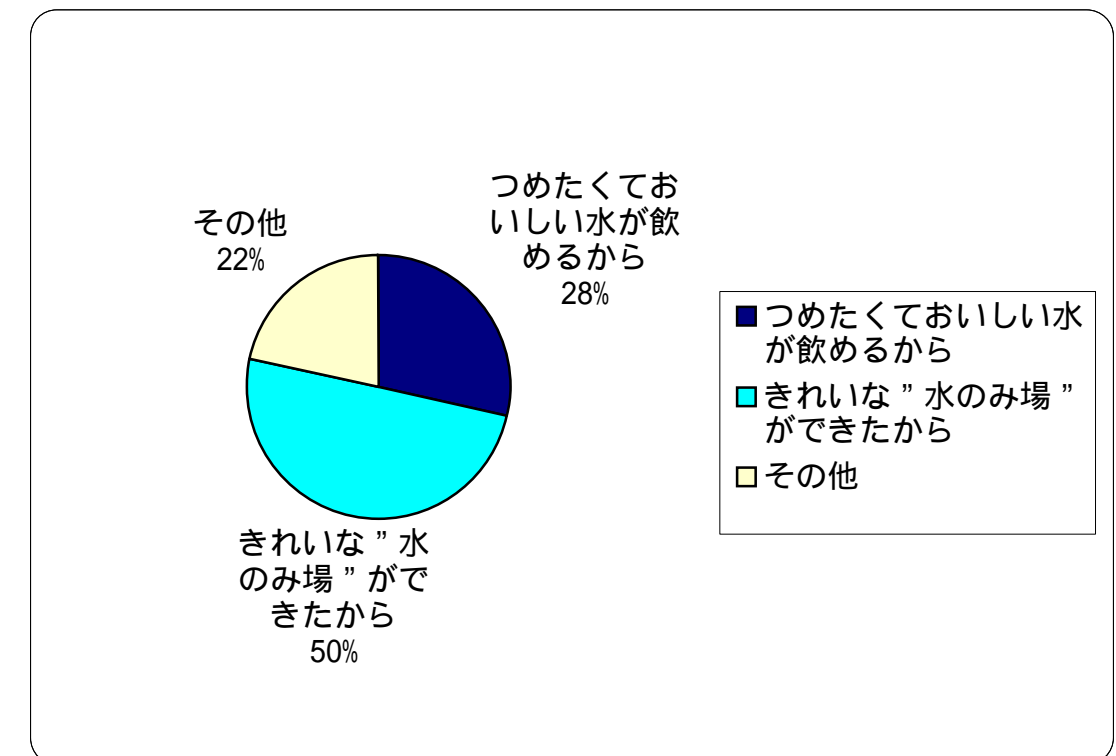
あたらしい“水のみ場”ができる前は、学校のじゃ口からでる水を飲んだことがありますか？



あたらしい“水のみ場”ができたことをどう思いますか？



あたらしい“水のみ場”ができたことが「よかった」のはどうしてですか？ (複数回答可)



あたらしい“水のみ場”ができたことが「よかった」のはどうしてですか？

【その他の意見】

・お茶がなくなったら飲めるから。（お茶を忘れたときに飲めるから）
・暑いときにはごくごく飲めるから。
・きれいでおいしい冷たい水が飲めるから。
・のどがかわいたら飲めるから。
・熱中症にならなくなるから。（しんどいときにのめるから）
・教室に戻って飲まなくても良いので。
・一気に多い水が飲める。
・体育館横でとても便利だから。
・安心感が出てきた（安全、安心して飲める）。
・世界で水が飲めない人もいるのに、飲めるから。
・運動場でけがをしたとき、すぐ洗えるから。
・できた事はよかったがおいしくない。

あたらしくできた“水のみ場”や“プレート”について、なにか意見があれば

書いてください。

【良かった】

・すごくきれいでのみやすい。
・きれいになったし、飲める水だから安心して。（飲める水が学校にできてうれしい）
・運動場でのどがかわいてもすぐにのめるから。（体育、クラブ、遊びのあとに飲むから）
・プレートがついて「この水きれいになったんだ」と思いほっとした。
・水道局の人たちが作った「水のみ場」なので飲んでます。とても冷たくておいしいです。
・新鮮、太陽の光でぴかりと光る。透明な水でおいしい。出来て良かった。
・プレート分かりやすいです。
・かわいいプレート（キャラクターがかわいい）を見たら飲みたくなる。（飲めると分かる）
・プレートを見てどこから水が来ているかがわかりやすい。
・飲めるとは知らなかった。飲んでみたい。（直結給水をはじめて知った）
・顔を洗うとき冷たくて気持ちがいい。

【その他】

・夏場や暑いときに水がとてもぬるい。冷たくしてほしい。
・プレートの意味がわからない。
・蛇口から出る水を飲むことに抵抗がある。
・プレートをもっと大きくしたら見やすい。（色々なプレートもあればいい）

2. 教職員用直結給水化事業についてのアンケート

新しくできた“水のみ場”に対する児童・生徒の反応及びその使用状況はどうですか？

・今まで運動場側に水道がなかったのととても便利になり、子ども、教師とも好評で大変喜んでます。また、体育後や部活動、土日の地域活動時にも大いに利用されています。
・新しくできた直結給水の『水のみ場』は冷たくおいしい水が出るので生徒もよく利用している。グラウンド使用のクラブ顧問としてすごく助かっています。
・『水飲み場の水は飲んで大丈夫』ということが、小学1年生にも広く知られるようになり、特に夏の間はよく使っていたように思います。水のみ場の水は飲んで良いと子ども達はすっかり認識しています。
・体育の授業のあとよく利用している姿を目にする。ウォータークーラーも設置してあるが大半の生徒は直結水道を利用している。ただ、暑い日は水が温くなるので少し物足りなさそうな顔をしている生徒もいます。
・休憩時間になるとうれしそうな顔をして飲んでます。語らいの場にもなっているようです。
・夏場に自分の持ってきたお茶がなくなると「運動場へ行ってきていいですか？」と複数の児童が聞いてきて、水のみ場へ行きます。空になった水筒に水のみ場で水を入れて教室に持ち帰って飲んでいる子もいます。
・今夏のように猛暑の中では自宅から持参する水筒だけでは不足、水のみ場で水を飲む状況は連日続いている。児童にも保護者にも好評です。（熱中症対策にも有効であったと思います）
・できるだけ、生水の飲用は控えさせてきたが、安心して冷たい水が飲める水のみ場が出来たことで、子どもたちも安心して飲んでおり、好評です。
・4年生水道の勉強があります。プレートを読んでそれを発表していました。

今回、実施した直結給水化工事によって水道水に対する考え方は変わりましたか？

また、変わったとすればどのように変わりましたか？

・学校の水道の水は子ども達が『のどが渴いたので水を飲んでいいですか？』と聞いても『あまり飲まない方がいいよ』と答えていました。でも水のみ場ができてからは『飲んでいいよ』と堂々といえるので良かったなと思っています。
・今までは『飲んでダメ』とお茶ができた子はどうしてもなかったのですが『のんどいで』と気安く言えるようになってます。
・手洗いやうがいとしてしか考えていなかったのが、飲料水としておいしく飲める水道水としてイメージが大きく変わりました。
・冷やして飲めば売っている水道水と変わらないなと感じました。
・学校にこのような水道が増えるのもっといいなと思います。
・「水を飲む」という感覚が今まではあまりなかったようだが、今でははっきりと「水を飲む」という意識ができています。
・水道水は安全でおいしい物という感覚を持ちました。市販のペットボトルの水と同じようにおいしい。
・水筒のお茶がなくなっても水道の水が飲めるというのは学校として安心です。水道水の安全性を再認識しました。
・もともと悪い考えはないので、変わらない。
・八尾まつり等で、大阪の水とPRされていたので、特に考え方は変わらず飲んでいました。飲みたいときに、安心して飲める水が蛇口から出てくることで、指導する側としても、安心感がある。
・水道水について理解度が教職員を含め高まったように思う。
・毎時間毎に必ず水道に行き水を飲んでいる子どもの姿が見られる。教師の方も声をかけやすくなり、子どもの嬉しそうな顔が見られるのはありがたい。
・親に言われて、水道水は飲まない子どもがいることも事実、安全性をアピールする必要がある。
・あまり水道水を飲まなかったのが、改めて水道の価値が理解できた。

その他、何か意見があれば書いて下さい。

・とにかく安心。生徒に『飲んでいいよ』と堂々といえる安心。生徒が水筒を忘れても（お茶がなくなっても）安心。
